

令和七年度 新宿区立漱石山房記念館《特別展》

発表一二〇年記念

吾輩

ハ 猫

デ ア ル



吾輩は猫である。
名前はまだ無い。

駒込千駄木の書斎の漱石(明治39年秋頃) 岩波書店提供

令和7年

10月11日(土) ~ 12月7日(日)

※会期中、展示替えを行います。

前期 10月11日(土)~11月9日(日) 後期 11月11日(火)~12月7日(日)

新宿区立漱石山房記念館 2階 資料展示室

開館時間: 午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日: 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)

観覧料: 一般500円、小中学生100円

※団体(20名以上・要事前連絡)は個人の観覧料の半額

※障がい者手帳等をお持ちの方は手帳の提示で無料(介助者1名無料)

主催: 新宿区立漱石山房記念館(公益財団法人新宿未来創造財団)

共催: 新宿区、新宿区教育委員会

協力: 松下浩幸(明治大学教授)、公益財団法人虚子記念文学館

新宿区立漱石山房記念館

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7

TEL.03-3205-0209 FAX.03-3205-0211 <https://soseki-museum.jp/>



吾輩は新年来多少有名になったので、
猫ながらちよつと鼻が高く感ぜらるるの
はありがたい。

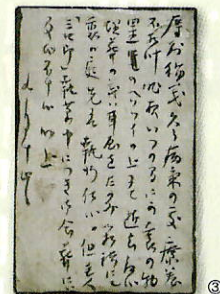
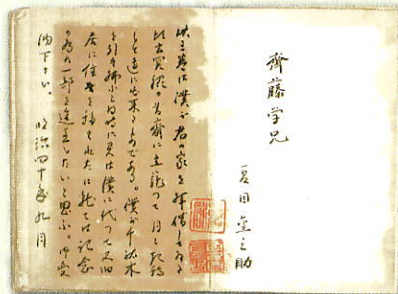
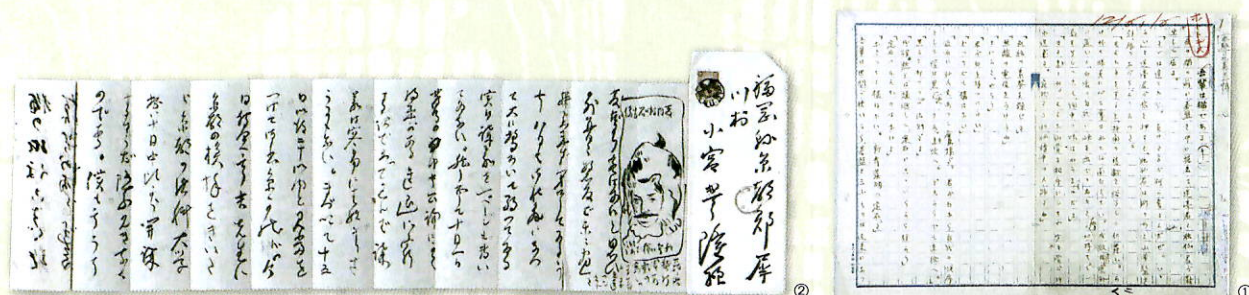
新宿区立漱石山房記念館「特別展」

発表一二〇年記念

『吾輩ハ猫デアル』

作家デビュー直前の夏目漱石は、千駄木に居を構え、東京帝国大学と第一高等学校で英語講師として教鞭を取っていました。しかし、神経衰弱に悩まされ、高浜虚子からその気晴らしとして勧められ執筆したのが『吾輩は猫である』でした。この作品は、中学校の英語教師・珍野苦沙弥の家族と珍野家に集う「太平の逸民たち」のおかしみを、珍野家の飼ひ猫による観察と彼らの会話を通して展開させたものです。

「吾輩は猫である」は、俳句雑誌『ホトトギス』に掲載され、明治三十八（一九〇五）年一月一日の発表と共に大変な好評を得ました。そのため予定していなかった続篇が発表され、第十一章まで執筆されました。しかも、この年秋には早くも単行本『吾輩ハ猫デアル』（上編）が刊行されています。作中で活躍する水島寒月を始めとする「太平の逸民たち」。その個性的なキャラクターと、落語を思わせるテンポ良い文体。全体を通して漱石が考える明治日本の文明批評も込められ、まさに漱石文学のエッセンスが詰まった一作と言えます。本年、『吾輩は猫である』の発表から百二十年、『吾輩は猫である』の関連資料及びその作品世界を紹介します。



①夏目漱石『吾輩は猫である』11章 原稿(虚子記念文学館蔵)、②夏目金之助 小宮豊隆宛て書簡 明治39年8月28日付(みやこ町歴史民俗博物館蔵)、③『猫の死亡通知』夏目金之助 松根東洋城宛てはがき 明治41年9月14日付(館蔵)、④『吾輩ハ猫デアル』上編(斎藤阿具宛て献呈本)表紙見返し(文京ふるさと歴史館蔵)、⑤菅虎雄書『我猫庵』扁額(博物館明治村蔵)

関連イベント

●特別展記念講演会 [有料・事前申込]

「笑いの方法—明治の文体と『吾輩は猫である』」

講師：北川扶生子(関西学院大学教授)

日時：11月22日(土)14時～16時 場所：地下1階講座室

定員：70名(多数抽選) 料金：1,000円(展示観覧料含む)

申込締切：10月27日(月)(必着)

●にゃんにゃんニャーニャーニャー猫づくし [無料・申込不要]

『ふみのしおり朗読会』

朗読：ふみのしおり(新宿歴史博物館ボランティアガイド)

日時：11月15日(土)10時30分～12時 場所：地下1階講座室

●ギャラリートーク [無料・申込不要]

日時：10月19日(日)、11月16日(日)・30日(日)14時～14時30分

場所：地下1階講座室

●永青文庫と「ねこ割」実施!

永青文庫(文京区目白台1-1-1)では「永青文庫 近代日本画の粋—あの猫が帰って来る!」(会期：10月4日(土)～11月30日(日))を開催します。

両館の猫を楽しんでいただくため、「ねこ割」(入館料相互割引)を実施します。

永青文庫「近代日本画の粋」展 <https://www.eiseibunko.com/>

漱石山房記念館でお渡しする割引券をご持参→入館料100円引き

漱石山房記念館『吾輩ハ猫デアル』展

永青文庫の観覧券チケットをご提示→個人観覧料が半額

※割引券は、予定枚数に達し次第、配布を終了いたします

※1名様につき1回まで。他割引との併用不可

※各イベントの詳細は、当館ウェブサイト、新宿未来創造財団広報紙「Oh!レガス 新宿ニュース」をご確認ください



新宿区立漱石山房記念館

(指定管理者：公益財団法人新宿未来創造財団)

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7

TEL.03-3205-0209 FAX.03-3205-0211 <https://soseki-museum.jp/>

交通のご案内

電車：東京メトロ東西線「早稲田駅」1番出口より徒歩10分、

都営地下鉄大江戸線「牛込柳町駅」東口より徒歩15分

バス：都営バス(白61)「牛込保健センター前」より徒歩2分

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください

